

日本 EU 学会  
第 43 回（2022 年度）研究大会

共通論題  
「EU の将来像と市民社会」

2022 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）

会場：東京経済大学（国分寺キャンパス）

住所：〒185-8502 国分寺市南町 1-7-34

連絡先：東京経済大学 小島健研究室

メールアドレス：eu43rd\*tku.ac.jp

(\*をアットマークに変更してください)

# 日本 EU 学会第 43 回（2022 年度）研究大会のご案内

日本 EU 学会理事長  
森井裕一

日本 EU 学会第 43 回（2022 年度）研究大会を下記の通り開催します。  
ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。  
2022 年 9 月吉日

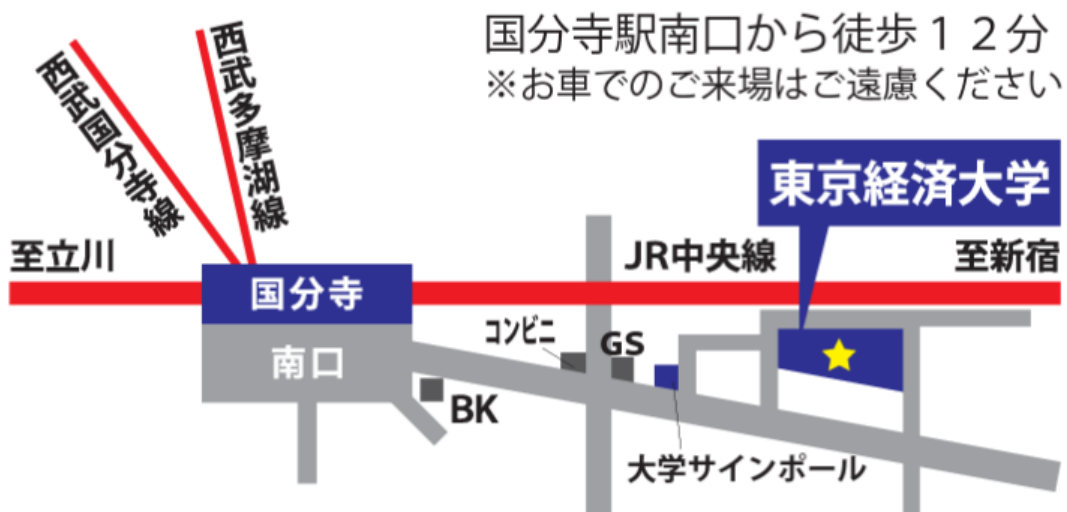
日時：2022 年 11 月 5 日(土)～6 日(日)

会場：東京経済大学（国分寺キャンパス）

アクセス：<https://www.tku.ac.jp/campus/institution/kokubunji/>

最寄り駅：「国分寺駅」

（JR 中央線、西武国分寺線・多摩湖線「国分寺駅」南口より徒歩 12 分）



第1日 11月5日(土) 開場・受付開始 12:30~

理事会 11:00-12:45

共通論題 EUの将来像と市民社会

前半 13:00-14:50 日本語セッション

※ 司会者の主旨説明 10分

報 告	論 題	司 会
中野聡 (豊橋創造大学)	13:10-14:00 30分報告・20分討論 市場経済、戦後体制と市民社会の未来—EU 社会対話の事例	高屋定美 (関西大学)
細井優子 (拓殖大学)	14:00-14:50 30分報告・20分討論 EU のデモクラシーと市民社会の将来	
休 憩 14:50-15:00		
総 会 15:00-15:30		
後半 15:30-17:45 英語セッション		
※ 司会者の主旨説明 10分		
Alberto Alemanno (HEC Paris)	15:40-16:30 30分報告・20分討論 “How to Make the EU a People’s Project? Time to Leveling the EU Participatory Playing Field”	Yumiko Nakanishi (Hitotsubashi University)
Yasue Noriko (Ritsumeikan University)	16:30-17:05 20分報告・15分質疑応答 “Innovating EU Democracy in the era of crisis”	
Takeshi Tsuchiya (Takasaki City University of Economics)	17:05-17:40 20分報告・15分質疑応答 “Democracy and Active Citizenship”	

分科会 10:00~12:30 (150分) 20分報告・15分質疑			
分科会名	報告	論 題	司 会
経済	ポルト・マッス イミリアーノ (神戸大学)	"The effects of Brexit on Japanese investments in Europe: a network analysis" (Brexitが日本のヨーロッパへの投資に与える影響: ネットワーク分析)	本田雅子 (大阪産業大学)
	佐藤秀樹 (金沢大学)	欧州銀行同盟提案10周年: 銀行同盟の総括と資本市場同盟との連動政策	
	松澤祐介 (西武文理大学)	近年の欧州の旅客鉄道輸送の変容—新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響と日本との比較を踏まえて	
	桑原田智之 (農林水産省農林水産政策研究所)	EU経済社会の持続可能性確保に向けたイニシアティブの実現への展望と我が国への含意: 農業・食料分野を事例として	
法と文化	湊健太郎 (渥美坂井法律事務所・外国法共同事業)	Komstroy 判決に見るEU法と投資仲裁の衝突の一断面	須網隆夫 (早稲田大学)
	兼頭ゆみ子 (中央大学)	環境分野におけるEUと市民社会の関わり—手続的環境権の保障に関する諸問題	
	諏佐ランカ (ヨハネス・ゲーテンベルク大学マインツ・院)	ドイツの働く女性の権利の推移及びEU政策におけるドイツ国内の対応	
	小畑理香 (大阪大学)	高等教育分野におけるEUと欧州高等教育圏(EHEA)の協働—学生モビリティのためのベンチマークの事例から	
政治と歴史	伊藤武 (東京大学)	統合懐疑主義の限界—イタリア世論におけるEUと自由貿易支持の検証	網谷龍介 (津田塾大学)
	佐竹壮一郎 (同志社大学)	EUにおける象徴としての「ヨーロッパ」とその多義性	
	大原俊一郎 (亜細亜大学)	ウィーン体制におけるヨーロッパ集団安全保障の形成と崩壊	
	中川洋一 (立命館大学)	第4次メルケル政権以後のドイツのCSDPと方向性	
昼食・休憩/理事会 12:40~13:30			
総 会 13:35~13:50			

公開シンポジウム EU とジェンダー

14:00-16:30 (日本語)

パネリスト

江島晶子 (明治大学)

ファシリテーター

谷口洋幸 (青山学院大学)

黒岩容子 (明治大学)

引馬知子 (田園調布学園大学)

岡村優希 (名古屋市立大学)

※ 公開シンポは非学会員に無料開放。

【ポスターセッション】

西山沙織 (エディンバラ大学修士課程修了)

「初期欧州統合におけるネガティブな動機—ECSC 加盟国におけるドイツ問題」

## <会場のご案内>

\*1日目及び2日目（分科会を除く）の受付、研究大会（2日目の分科会除く）は、「大倉喜八郎 進一層館」1階の多目的ホールで開催します。

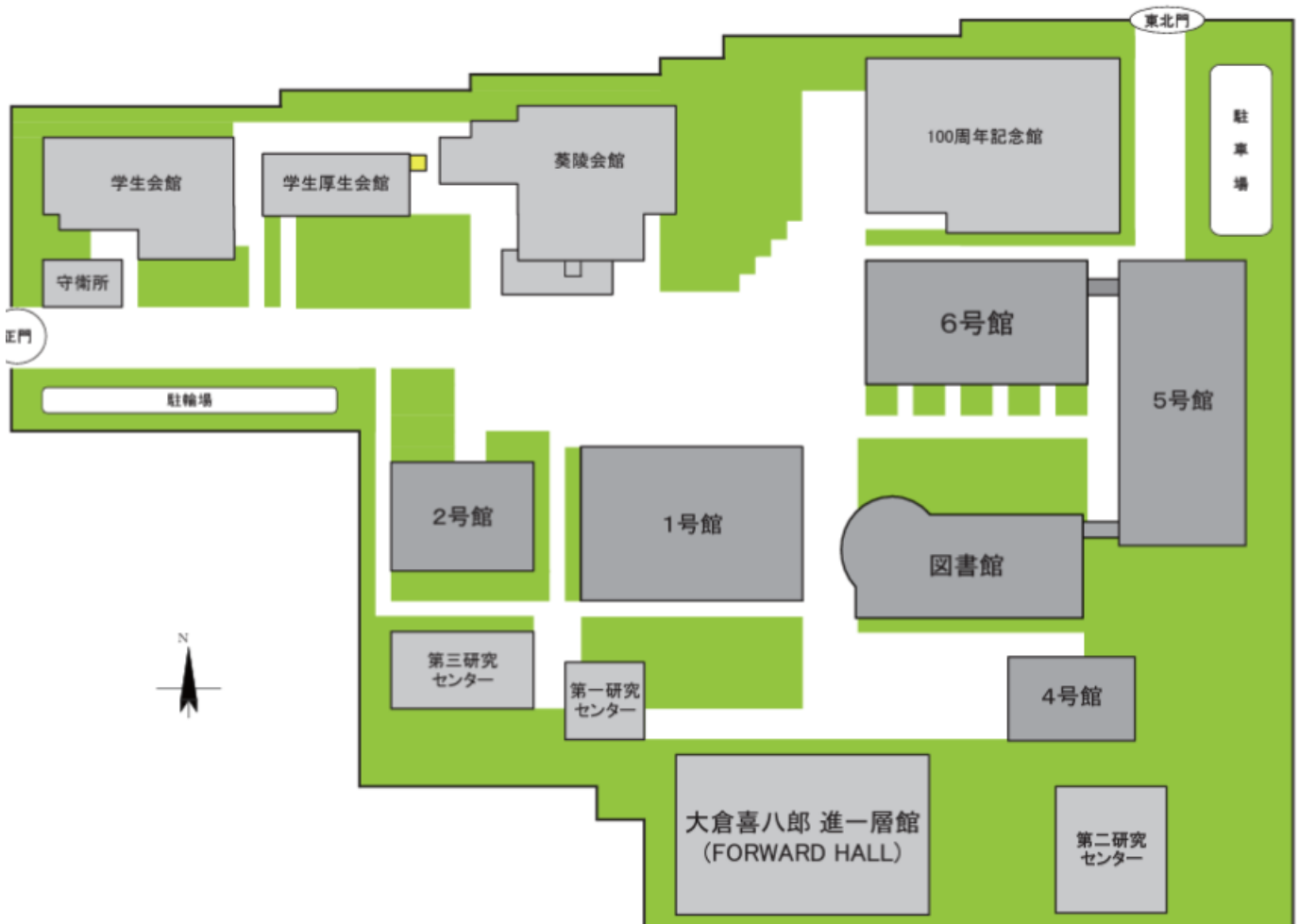
\*理事会は、同じ建物の地下1階会議室となります。

\*ポスターセッションは、同じ建物のエントランス付近となります。

\*2日目の分科会の受付は、1号館1階。分科会会場は、1号館3階の教室になります。

\*経済分科会：A304：法と文化の分科会：A309；政治と歴史の分科会：A310

\*昼食・休憩室は、1号館3階のA305とA306となります。



〔お知らせとお願い〕

#### <交通・宿泊>

\*交通手段や宿泊の手配は、ご自身でお願い致します。皆様には早めのご予約を強く推奨いたします。

#### <出欠のご返答のお願い>

出欠のご返答は、同封の出欠ハガキにご記入の上、10月26日（水）必着にてお願い申し上げます。

#### <ご注意とご案内>

1. コロナ禍のため、お弁当および飲み物は各自でご準備ください。会場には休憩場を設けており、そこで飲食可能となっています。なお、大倉喜八郎進一層館及び1号館1階に給水設備があり、武蔵野の自然の水を飲料することが可能です。
2. コロナ禍のため、懇親会は開催されません。
3. edurom JP 参加機関の ID をお持ちであれば、無線 LAN の利用が可能です。ID をお持ちでない方への対応は致しておりません。

#### <フルペーパーの入手方法>

報告のフルペーパーを研究大会の10月22日（土）から、大会終了1週間後の11月12日（土）まで学会ホームページ(<https://www.eusa-japan.org/>)に掲載し、会員がその間だけダウンロードできるように致します。

パスワードは、会員宛にお送りする研究大会のご案内をご確認ください。

#### <その他の注意事項>

研究大会会場での貴重品等の管理には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

マスクの着用をお願いします。また、大声での会話はお控えください。

大学では、入校時コロナ感染予防のためのチェックがあります。時間に余裕をもって到着されることをお勧めします。